

18 学術業績

A. 国際学会・国際シンポジウム

[消化器内科]

- 1 (演題名) Clinical usefulness of ursodeoxycholic acid for treating autoimmune hepatitis.
(発表者) 鳥巢勇一、中野真範、佐伯千里、及川恒一、穂苅厚史、石川智久、猿田雅之、銭谷幹男
(学会名) APASL Annual Meeting 2017
(開催地、年月日) Shanghai, 2017.2.15

- 2 (演題名) Primary administration of Pentazocine and Midazolam for sedation to hepatocellular carcinoma patients reduce the pain safely during percutaneous radiofrequency ablation (RFA) treatment.
(発表者) 中野真範、木下勇次、遠藤大輔、秋田義博、庄司亮、鳥巢勇一
(学会名) APASL Annual Meeting 2017
(開催地、年月日) Shanghai, 2017.2.15

[神経内科]

- 1 (演題名) Cerebral microbeeds in Fabry Disease are stabilized by long-term enzyme replacement therapy.
(発表者) Yu Kono, Taichi Wakabayashi, Masahisa Kobayashi, Toya Ohashi, Yoshikatsu Eto, Hiroyuki Ida, Yasuyuki Iguchi.
(学会名) XXV Europe Stroke Confernce.
(開催地、年月日) Venice in Italy, 2016.4.20

- 2 (演題名) Neurological involvement in Fabry disease.
(発表者) Yu Kono.
(シンポジウム名) Asian Fabry Master Class.
(開催地、年月日) Seoul in Korea, 2016.9.24

[外科]

- 1 (演題名) A case of the type IV hiatal hernia with transverse colon incarceration behind the abdominal esophagus.
(発表者) Kazuto Tsuboi
(学会名) The15th World Congress of the ISDE
(開催地、年月日) Singapore, 2016.9.19-21

B. 学会総会

〔糖尿病・内分泌・血液内科〕

- 1 (演題名) 妊娠糖尿病患者の75g経口ブドウ糖負荷試験の結果と周産期データに関する検討
(発表者) 本澤訓聖
(学会名) 第113回日本内科学会講演会 ことはじめ2016
(開催地、年月日) 東京都千代田区、平成28年4月16日
- 2 (演題名) 妊娠糖尿病患者における75g経口ブドウ糖負荷試験の結果と周産期合併症に関する検討
(発表者) 本澤訓聖
(学会名) 第59回日本糖尿病学会年次学術集会
(開催地、年月日) 京都市、平成28年5月20日
- 3 (演題名) インスリンーマにおけるインタクト・プロインスリンと選択的動脈内刺激薬注入(SACI)試験の有効性に関する検討
(発表者) 大村有加
(学会名) 第59回日本糖尿病学会年次学術集会
(開催地、年月日) 京都市、平成28年5月20日
- 4 (演題名) Thrombocytosis with fever caused by pegfilgrastim in an elderly patient with follicular lymphoma
(発表者) 伊藤勇太
(学会名) 第78回日本血液学会学術集会
(開催地、年月日) 横浜市、平成28年10月13日

〔消化器内科〕

- 1 (演題名) 当院における経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)施行時の患者苦痛軽減の工夫
(発表者) 木下千夏、中田達也、庄司亮、古橋広人、鳥巢 勇一
(学会名) 第52回日本肝臓学会総会
(開催地、年月日) 千葉市、平成28年5月19日

〔腎臓内科〕

- 1 (演題名) 慢性腎臓病患者における偽膜性腸炎の発症率の検討
(発表者) 高橋康人、小松寄陽、高村毅、山本和佳、笠井健司、横尾隆
(学会名) 第59回日本腎臓学会学術総会
(開催地、年月日) 横浜市、平成28年6月17日-19日
- 2 (演題名) 危機管理委員会企画1(災害対策):経験に学ぶ南海トラフ巨大地震の災害対策 静岡県における東海地震の災害対策
(発表者) 加藤明彦(浜松医科大学附属病院)、森典子(静岡県立総合病院)、笠井健司
(学会名) 第61回日本透析医学会学術集会・総会
(開催地、年月日) 大阪市、平成28年6月9日-12日

- 3 (演題名) 富士市透析防災ネットワークの展開 (第5報) ～災害時透析拠点施設の力を引き出す試み～
(発表者) 笠井健司、中村一賀 (富士第一クリニック)、内田光一 (聖隷富士病院)、山内康裕 (新富士病院)、杉山義樹 (東名富士クリニック)、加藤伸之輔 (加藤クリニック)、野口武雄 (共立蒲原総合病院)
(学会名) 第61回日本透析医学会学術集会・総会
(開催地、年月日) 大阪市、平成28年6月9日-12日

[神経内科]

- 1 (演題名) サルコイドニューロパシーにおける血清ACEと可溶性IL-2受容体の臨床意義に関する検討.
(発表者) 河野優、森田昌代
(学会名) 第57回日本神経学会総会
(開催地、年月日) 神戸市、平成28年5月18日
- 2 (演題名) 治療に難渋した非HIV患者のクリプトコッカス髄膜脳炎の51歳男性例.
(発表者) 赤嶺友代、河野優
(学会名) 第34回日本神経治療学会
(開催地、年月日) 米子市、平成28年11月3日

[小児科]

- 1 (演題名) *Stenotrophomonas maltophilia* による菌血症合併尿路感染症を発症した生後8ヶ月男児例
(発表者) 日馬由貴
(学会名) 第90回日本感染症学会学術集会
(開催地、年月日) 仙台市、平成28年4月15日
- 2 (演題名) 帽状腱膜下出血を初発症状とした重症血友病Aの新生児例
(発表者) 角皆季樹、相良長俊、日馬由貴、山田浩介、秋山直枝、百合草祥子、北澤宏展、小倉妙美、渡邊健一郎、井田博幸
(学会名) 第119回日本小児科学会学術集会
(開催地、年月日) 札幌市、平成28年5月13日-15日
- 3 (演題名) 入院時に Hyponatremic Hypertension Syndrome が想定できなかった1例
(発表者) 千葉浩介、武田桃子、伊藤亮、平野大志
(学会名) 第38回日本小児腎不全学会学術集会
(開催地、年月日) 岐阜市、平成28年10月27日-28日
- 4 (演題名) 入院時ルチン鼻腔培養、咽頭培養廃止の功と罪.
(発表者) 日馬由貴、伊藤研、角皆季樹
(学会名) 第48回日本小児感染症学会総会・学術集会
(開催地、年月日) 岡山市、平成28年11月19日-20日

- 5 (演題名) フィリピンから日本への旅行中に発症した輸入デング出血熱の小児例
(発表者) 伊藤研、日馬由貴、角皆季樹
(学会名) 第48回日本小児感染症学会総会・学術集会
(開催地、年月日) 岡山市、平成28年11月19日-20日
- 6 (演題名) *Staphylococcus epidermidis* 尿路感染症を契機に高度膀胱尿管逆流を発見し得た1例
(発表者) 角皆季樹、日馬由貴、伊藤研
(学会名) 第48回日本小児感染症学会総会・学術集会
(開催地、年月日) 岡山市、平成28年11月19日-20日

[循環器内科]

- 1 (演題名) 第2世代limus系ステントEESとBESの慢性期造影所見比較
(発表者) 山田崇之
(学会名) 第25回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)2016学術集会
(開催地、年月日) 東京都千代田区、平成28年7月8日

[外科]

- 1 (演題名) アカラシア患者の胸痛に対する腹腔鏡下Heller-Dor手術の治療効果
(発表者) 坪井一人
(学会名) 第116回日本外科学会・定期学術集会
(開催地、年月日) 大阪市、平成28年4月14日-16日
- 2 (演題名) ポスターセッション「食道 手術手技」
(発表者) 柏木秀幸【司会】
(学会名) 第116回日本外科学会・定期学術集会
(開催地、年月日) 大阪市、平成28年4月14日-16日
- 3 (演題名) 食道アカラシア患者における食道クリアランスの程度と症状との関係
(発表者) 坪井一人
(学会名) 第102回日本消化器病学会総会
(開催地、年月日) 東京都新宿区、平成28年4月20日-22日
- 4 (演題名) 腹部食道後面に横行結腸が陥入する稀な形態を示した食道裂孔ヘルニアの1手術例
(発表者) 坪井一人
(学会名) 第41回日本外科系連合学会学術集会
(開催地、年月日) 大阪市、平成28年6月15日-17日

- 5 (演題名) 腸瘻造設部を起点とした捻転により輸入脚症候群を呈した1例
(発表者) 谷田部沙織
(学会名) 第41回日本外科系連合学会学術集会
(開催地、年月日) 大阪市、平成28年6月15日-17日

- 6 (演題名) サルコイドーシスを併存した乳癌術後の肝転移巣に非乾酪性類上皮細胞性肉芽腫を伴う腺癌を認めた一例
(発表者) 浮池梓
(学会名) 第24回日本乳癌学会学術総会
(開催地、年月日) 東京都江東区、平成28年6月16日-18日

- 7 (演題名) 胸腔鏡下食道切除後の膿胸に対し生理的食塩水による灌流療法が有用であった1例
(発表者) 坪井一人
(学会名) 第70回日本食道学会総会学術集会
(開催地、年月日) 東京都港区、平成28年7月4日-6日

- 8 (演題名) 一般演題(ポスター)「胃:手術手技1」
(発表者) 柏木秀幸【司会】
(学会名) 第71回日本消化器外科学会
(開催地、年月日) 徳島市、平成28年7月14日

- 9 (演題名) びらん性逆流性食道炎患者の病悩期間が手術成績におよぼす影響
(発表者) 坪井一人
(学会名) 第71回日本消化器外科学会総会
(開催地、年月日) 徳島市、平成28年7月14日-16日

- 10 (演題名) 当院での急性虫垂炎に対する緊急手術例におけるリスク因子についての検討
(発表者) 熊谷祐
(学会名) 第71回日本消化器外科学会総会
(開催地、年月日) 徳島市、平成28年7月14日-16日

- 11 (演題名) 消化器外科領域のNPWTの有用性について
(発表者) 良元和久
(学会名) 第8回日本創傷外科学会総会学術集会
(開催地、年月日) 東京都豊島区、平成28年7月21日-22日

- 12 (演題名) 切除標本から日本住血吸虫症の虫卵が確認された手術例の検討
(発表者) 熊谷祐
(学会名) 第14回日本消化器外科学会大会
(開催地、年月日) 徳島市、平成28年11月2日-5日

- 13 (演題名) 一般演題 (デジタルポスターセッション) 胃 1 7.
(発表者) 柏木秀幸【座長】
(学会名) JDDW2016KOBE (第 14 回日本消化器外科学会大会)
(開催地、年月日) 神戸市、平成 28 年 11 月 5 日
- 14 (演題名) 大腸癌術後虚血性大腸炎に対して大腸切除を施行した 1 例
(発表者) 梶本徹也、若林久美子<看護部>
(学会名) 第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会
(開催地、年月日) 伊勢市、平成 28 年 11 月 18 日-19 日
- 15 (演題名) 術前 3D-CT にて下腸間膜動脈の走行異常を確信し得た S 状結腸癌の一例
(発表者) 谷田部沙織
(学会名) 第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会
(開催地、年月日) 伊勢市、平成 28 年 11 月 18 日-19 日
- 16 (演題名) 副右結腸静脈の破綻により出血性ショックを呈し、緊急開腹手術に至った特発性腸間膜血腫の 1 例
(発表者) 北川隆洋
(学会名) 第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会
(開催地、年月日) 伊勢市、平成 28 年 11 月 18 日-19 日
- 17 (演題名) 要望演題 (ビデオ) : 私のこだわりの手術手技 (食道) 3
(発表者) 柏木秀幸【座長】
(学会名) 第 78 回日本臨床外科学会
(開催地、年月日) 東京都港区、平成 28 年 11 月 26 日
- 18 (演題名) 当科における転移性肺腫瘍に対する手術症例の検討
(発表者) 梶本徹也
(学会名) 第 78 回日本臨床外科学会総会
(開催地、年月日) 東京都港区、平成 28 年 11 月 24 日-26 日
- 19 (演題名) アンケートを活用した患者用クリニカルパスの改善について
(発表者) 良元和久
(学会名) 第 17 回日本クリニカルパス学会学術集会
(開催地、年月日) 金沢市、平成 28 年 11 月 25 日-26 日
- 20 (演題名) 一般口演 食道良性
(発表者) 柏木秀幸【司会】
(学会名) 第 29 回日本内視鏡外科学会総会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 28 年 12 月 9 日

- 21 (演題名) 肥満胆石症患者に対し PINPOINT システムを用いて行った腹腔鏡下胆嚢摘出術の
1 例
(発表者) 坪井一人
(学会名) 第 29 回日本内視鏡外科学会総会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 28 年 12 月 8 日－10 日
- 22 (演題名) Natural Orifice Specimen Extraction (NOSE) を用いた腹腔鏡下スリーブ状胃
切除術
(発表者) 道躰隆行
(学会名) 第 29 回日本内視鏡外科学会総会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 28 年 12 月 8 日－10 日
- 23 (演題名) Adachi6 型の腹腔動脈走行異常を伴う進行胃癌に対して腹腔鏡下胃全摘を施行
した 1 例
(発表者) 谷田部沙織
(学会名) 第 29 回日本内視鏡外科学会総会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 28 年 12 月 8 日－10 日
- 24 (演題名) ビデオワークショップ「上部・下部消化管 肝胆膵」
(発表者) 三森教雄、柏木秀幸【司会】
(学会名) 第 53 回日本腹部救急医学会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 29 年 3 月 3 日
- 25 (演題名) 盲腸軸捻転の 1 例
(発表者) 小林康伸
(学会名) 第 53 回腹部救急医学会総会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 29 年 3 月 3 日

〔泌尿器科〕

- 1 (演題名) 膀胱 nephrogenic adenoma の一例
(発表者) 森啓一郎、鈴木英訓、後藤博一、小野寺昭一
(学会名) 第 104 回日本泌尿器科学会総会
(開催地、年月日) 仙台市、平成 28 年 4 月 24 日
- 2 (演題名) 膀胱印鑑細胞癌の一例
(発表者) 森啓一郎、鈴木英訓、後藤博一、小野寺昭一
(学会名) 第 66 回日本泌尿器科学会中部総会
(開催地、年月日) 四日市市、平成 28 年 10 月 26 日

[産婦人科]

- 1 (演題名) A case of amniotic fluid embolism after MD twin caesarean delivery
(発表者) 東堂祐介、鈴木康之
(学会名) 第 68 回日本産科婦人科学会
(開催地、年月日) 東京都千代田区、平成 28 年 4 月 21 日－24 日
- 2 (演題名) 陥頓子宮状態が持続した巨大子宮筋腫合併妊娠の 1 例
(発表者) 榛葉頼子、鈴木康之
(学会名) 第 52 回日本周産期新生児学会
(開催地、年月日) 富山市、平成 28 年 7 月 16 日－18 日
- 3 (演題名) 子宮穿孔により迷入した LNG-IUS を腹腔鏡で回収した 1 例
(発表者) 東堂祐介、鈴木康之
(学会名) 第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会
(開催地、年月日) 長崎市、平成 28 年 9 月 1 日－3 日

[放射線科]

- 1 (演題名) 難治性良性胆管狭窄に対して生分解型胆管ステントを留置した一例
(発表者) 松井洋、竹永晋介、熊谷祐、福田国彦、斉藤博哉
(学会名) 第 52 回日本医学放射線学会秋季臨床大会
(開催地、年月日) 東京都新宿区、平成 28 年 9 月 16 日－18 日

[歯科口腔外科]

- 1 (演題名) 当科における骨吸収抑制剤使用患者の臨床的検討
(発表者) 本間彰人、勝山直彦、井出正俊、山口晃、水谷太尊
(学会名) 日本口腔外科学会総会
(開催地、年月日) 幕張市、平成 28 年 11 月 25 日－27 日
- 2 (演題名) テリパラチドにより著明な骨形成が得られた MRONJ の 1 例
(発表者) 井出正俊、勝山直彦、本間彰人、阿部恵一、柳下寿郎
(学会名) 日本口腔外科学会総会
(開催地、年月日) 幕張市、平成 28 年 11 月 25 日－27 日

[中央放射線科]

- 1 (演題名) 簡易的頸部 MRI 追加撮影による脳血管造影前の診療支援を目的とした取り組み
(発表者) 猪股崇亨
(学会名) 第 32 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学術総会
(開催地、年月日) 神戸市、平成 28 年 11 月 24 日－26 日

[栄養科]

- 1 (演題名) 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を受けた高度肥満症患者の食行動変容に関する研究
(発表者) 小俣朋子
(学会名) 日本心身健康科学学会
(開催地、年月日) 蓮田市、平成 29 年 2 月 25 日

〔薬剤科〕

- 1 (演題名) 周術期持参薬管理とポリファーマシー
(発表者) 阿部一仁
(学会名) 第26回日本医療薬学会
(開催地、年月日) 京都市、平成28年9月17日－19日
- 2 (演題名) 婦人科癌TC療法の悪心・嘔吐リスク因子とアプレピタントの効果検討
(発表者) 阿部一仁
(学会名) 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017
(開催地、年月日) 新潟市、平成29年3月18日－19日

〔看護部〕

- 1 (演題名) 終末期ケアカンファレンスの効果
～ICU看護師の終末期ケアに対する意識の変化から～
(発表者) 佐野良子
(学会名) 第47回 日本看護学会 急性期看護
(開催地、年月日) 宜野湾市、平成28年7月15日－16日
- 2 (演題名) 認知力の低下がある高齢患者へのストーマセルフケア支援
(発表者) 前嶋良子
(学会名) 第47回 日本看護学会 急性期看護
(開催地、年月日) 宜野湾市、平成28年7月15日－16日
- 3 (演題名) 卒後2年目を目前にした新人看護師が感じる職務上の困難と欲しい支援
(発表者) 望月直美
(学会名) 第47回 日本看護学会 慢性期看護
(開催地、年月日) 大津市、平成28年8月4日－5日
- 4 (演題名) 内服薬インシデントの要因分析
－確認不足の項目と医師の指示から配薬までの過程におけるルール違反－
(発表者) 秋山ゆかり
(学会名) 日本看護研究学会 第42回学術集会
(開催地、年月日) つくば市、平成28年8月20日
- 5 (演題名) せん妄に対する看護師への教育的介入の効果
(発表者) 渡邊真理子
(学会名) 第47回 日本看護学会 看護管理
(開催地、年月日) 金沢市、平成28年9月27日－28日
- 6 (演題名) 転倒転落事例に対するウォーキングカンファレンスによる現場検証
(発表者) 秋山ゆかり
(学会名) 第47回 日本看護学会 看護管理
(開催地、年月日) 金沢市、平成28年9月27日－28日

- 7 (演題名) ベテラン看護師がケア場面で抱いた患者・家族に対する否定的感情への対処行動
(発表者) 島津健太
(学会名) 第47回 日本看護学会 看護管理
(開催地、年月日) 金沢市、平成28年9月27日-28日
- 8 (演題名) 産科病棟に異動した看護師が役割認識を獲得するまでのプロセスと関連する要因
(発表者) 渡辺恵里子
(学会名) 日本母性衛生学会総会
(開催地、年月日) 東京都港区、平成28年10月14日-15日
- 9 (演題名) 食物摂取頻度調査 (FFQ g) による妊娠糖尿病妊婦と正常妊婦の栄養摂取状況と生活習慣
(発表者) 大井洋子
(学会名) 日本母性衛生学会総会
(開催地、年月日) 東京都港区、平成28年10月14日-15日
- 10 (演題名) A病院クリニカルラダー別の看護研究に対する意識と支援
(発表者) 野畑圭子
(学会名) 第55回全国自治体病院学会
(開催地、年月日) 富山市、平成28年10月20日-21日
- 11 (演題名) ラジオ波熱凝固療法を受ける患者の不安・ニーズ
ーオリエンテーションプログラム作成に向けてー
(発表者) 伊賀尚美
(学会名) 第47回 日本看護学会 慢性期看護
(開催地、年月日) 米子市、平成28年11月10日-11日
- 12 (演題名) 短期入院で化学療法を継続している患者の目標への支援
(発表者) 初鹿陽菜
(学会名) 第47回 日本看護学会 慢性期看護
(開催地、年月日) 米子市、平成28年11月10日-11日
- 13 (演題名) 腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術後にストーマ合併症をきたした2例
(発表者) 若林久美子
(学会名) 第71回日本大腸肛門病学会学術集会
(開催地、年月日) 伊勢市、平成28年11月18日-19日
- 14 (演題名) バリエーション分析を利用した下肢壊疽(腰椎麻酔)パスの検証と改善
(発表者) 川崎義和
(学会名) 第17回日本クリニカルパス学会学術集会
(開催地、年月日) 金沢市、平成28年11月25日-26日

[ICT]

- 1 (演題名) NICUにおいて遺伝子型が異なる3タイプのMRSAが同時期に発生、拡散した事例
(発表者) 増田満伯、日馬由貴、本間功武、後藤博一、小野寺昭一
(学会名) 第32回日本環境感染学会学術集会
(開催地、年月日) 神戸市、平成29年2月24日

C. 地方会・講演会・研究会

[糖尿病・内分泌・血液内科]

- 1 (演題名) 低栄養による免疫低下とステロイド関節内注射により蜂窩織炎から敗血症・骨髄炎に至った26歳女性
(発表者) 大村有加
(会名) 第230回日本内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 名古屋市、平成28年10月16日
- 2 (演題名) チアマゾール、ヨウ化カリウムで全身性播種状紅斑、プロピルチオウラシルで高度肝障害を認めアイソトープ治療が必要となった伝染性単核球症合併バセドウ病の1例
(発表者) 本澤訓聖
(会名) 第231回日本内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成29年2月19日
- 3 (演題名) びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の治療中にpegfilgrastimにより巨細胞性血管炎を合併した1例
(発表者) 伊藤勇太
(会名) 第231回日本内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成29年2月19日

[呼吸器内科]

- 1 (演題名) 重症肺炎の治療を契機に失調性呼吸の存在が明らかとなった多系統萎縮症の54歳女性例.
(発表者) 佐々木諒子、小林賢司、河野優、木村哲夫
(学会名) 第231回内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成29年2月19日

[消化器内科]

- 1 (演題名) 好酸球性胃腸炎による蛋白漏出性胃腸症の疑われた1例
(発表者) 木下勇次、秋田義博、遠藤大輔、庄司亮、中野真範、鳥巢勇一
(会名) 第231回内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成28年2月19日
- 2 (演題名) 感染性腸炎との鑑別に苦慮した急性劇症型潰瘍性大腸炎の1例
(発表者) 遠藤大輔、秋田義博、木下勇次、庄司亮、中野真範、鳥巢勇一
(会名) 第231回内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成28年2月19日

- 3 (演題名) セフトリアキソンにより偽胆石が出現した2例
 (発表者) 秋田義博、遠藤大輔、木下勇次、庄司亮、中野真範、鳥巢勇一
 (会名) 第231回内科学会東海地方会
 (開催地、年月日) 津市、平成28年2月19日
- 4 (演題名) 左弁蓋部の脳膿瘍によって前部弁蓋部症候群を呈した84歳男性例
 (発表者) 庄司亮、古橋広人、中野真範、河野優、鳥巢勇一
 (会名) 第231回内科学会東海地方会
 (開催地、年月日) 津市、平成28年2月19日

[腎臓内科]

- 1 (演題名) 腎生検を契機に診断されたFabry病の2症例
 (発表者) 高橋康人
 (会名) ファブリー病学術講演会 in 富士
 (開催地、年月日) 富士市、平成28年7月
- 2 (演題名) 高度蛋白尿を呈したヘテロ接合型アミロイドポリニューロパチー4型 (FAP4) の家族例
 (発表者) 山本和佳、小松寄陽、高村毅、高橋康人、笠井健司、矢崎正英 (信州大学第3内科)、吉永恒明 (信州大学第3内科)、横尾隆
 (会名) 第46回日本腎臓学会東部学術大会
 (開催地、年月日) 東京都新宿区、平成28年10月
- 3 (演題名) ステロイドパルス療法単独で緩解し得たPlasma Cell Rich Acute Rejection の一例
 (発表者) 小松寄陽、中田泰之、山本泉、川邊万祐子、山川貴史、勝俣陽貴、勝馬愛、眞船華、小林賛光、小池祐介、三木淳、山田裕紀、丹野有道、大城戸一郎、坪井伸夫、山本裕康、横尾隆
 (会名) 第46回日本腎臓学会東部学術大会
 (開催地、年月日) 東京都新宿区、平成28年10月
- 4 (演題名) 2016年版災害を乗り切るために知っておきたいこと
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 富士市透析防災講演会
 (開催地、年月日) 富士市、平成28年10月
- 5 (演題名) 高尿酸血症とCKD
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 御殿場市内科医会講演会
 (開催地、年月日) 御殿場市、平成28年10月
- 6 (演題名) 地域で取り組む透析・CKD診療
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 富士透析カンファレンス
 (開催地、年月日) 富士市、平成28年11月
- 7 (演題名) 地域で取り組むCKD診療
 (発表者) 笠井健司
 (会名) ホスレノールWEBセミナー
 (開催地、年月日) 富士市、平成28年11月

- 8 (演題名) 慢性リンパ球性白血病の経過中にネフローゼ症候群を合併した一例
 (発表者) 高村毅、高橋康人、小松寄陽、山本和佳、笠井健司
 (会名) 第36回東部腎カンファレンス
 (開催地、年月日) 富士市、平成28年11月
- 9 (演題名) 知ってあんしん 慢性腎臓病 (CKD) ～健診結果から改善・予防へ～
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 富士市CKDネットワーク運営委員会主催講演会
 (開催地、年月日) 富士市、平成28年11月
- 10 (演題名) 「知っておきたい！大切な腎臓のはなし」～ドクターが伝授するCKD(慢性腎臓病)予防～
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 平成28年度生活習慣病予防講演会
 (開催地、年月日) 沼津市、平成29年2月
- 11 (演題名) 透析医療・腎臓病診療における医療連携 ―富士市の挑戦―
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 第35回沖縄県人工透析研究会
 (開催地、年月日) 宜野湾市、平成29年3月

[神経内科]

- 1 (演題名) 脳梗塞治療 up to date ―脳卒中ガイドライン2015をふまえて―
 (発表者) 河野優
 (会名) 第17回静岡県東部・伊豆地区脳卒中地域連携パス合同連絡会議
 (開催地、年月日) 三島市、平成28年5月28日
- 2 (演題名) ファブリー病における脳梗塞の特徴.
 (発表者) 河野優
 (会名) 第12回日本ファブリー病フォーラム.
 (開催地、年月日) 東京都港区、平成28年7月10日
- 3 (演題名) Fabry病における脳梗塞の特徴.
 (発表者) 河野優
 (会名) 第9回文京脳卒中マネジメントフォーラム.
 (開催地、年月日) 東京都港区、平成28年10月7日
- 4 (演題名) 脳皮質静脈血栓症の診断と治療.
 (発表者) 河野優
 (会名) 第1回Neurology Forum.
 (開催地、年月日) 東京都港区、平成29年1月16日

[小児科]

- 1 (演題名) 頭部打撲で診察帰宅後に頭蓋内出血で入院となった血友病Aの児
(発表者) 伊藤研
(会名) 第6回静岡県東部小児血友病懇話会
(開催地、年月日) 沼津市、平成28年5月26日

- 2 (演題名) 血液培養検査法を標準化したところ検出率が2倍に、汚染率が半分になった～標準化前後2年間の比較
(発表者) 千葉浩介、古河賢太郎、伊藤研、角皆季樹、鈴木貴之、木下美沙子、日馬由貴、秋山直枝、千葉博胤
(会名) 第140回日本小児科学会静岡県地方会
(開催地、年月日) 静岡市、平成28年6月5日

- 3 (演題名) 血液培養検査法を標準化したら菌検出率が倍になった～標準化前後2年間の比較
(発表者) 日馬由貴
(会名) 第19回静岡東部感染症診断・治療・制御研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成28年7月23日

- 4 (演題名) 小児の血液培養～限られたエビデンスの中で探るベストプラクティス！
(発表者) 日馬由貴
(会名) 第9回東海血流セミナー（シンポジスト）
(開催地、年月日) 名古屋市、平成28年7月30日

- 5 (演題名) 100年後の子ども達に抗菌薬を残す！オレたちのやり方～小児診療編～
(発表者) 日馬由貴
(会名) 第46回IDATENインタラクティブケースカンファレンス
(開催地、年月日) 東京都千代田区、平成28年9月3日

- 6 (演題名) 8日間持続する高熱、受診時には消失していた嘔吐を主訴に受診した炎症反応高値の6歳
(発表者) 日馬由貴、古河賢太郎、伊藤研、千葉浩介、角皆季樹、鈴木貴之、木下美沙子、秋山直枝、千葉博胤
(会名) 第52回静岡県東部臨床小児懇話会
(開催地、年月日) 沼津市、平成28年9月17日

- 7 (演題名) ヘルペス脳炎が除外できないときのHSV-1検査の現状
(発表者) 日馬由貴、古河賢太郎、千葉浩介、伊藤研、角皆季樹、鈴木貴之、木下美沙子、秋山直枝、千葉博胤
(会名) 第141回日本小児科学会静岡県地方会
(開催地、年月日) 静岡市、平成28年11月13日

[外科]

- 1 (演題名) 「当院での VAC の現状」
(発表者) 良元和久
(会 名) 第 2 回 SWOC 創傷カンファレンス in 神奈川
(開催地、年月日) 横浜市、平成 28 年 7 月 2 日

- 2 (演題名) Natural Orifice Specimen Ex t r action (NOSE) を用いた腹腔鏡下スリーブ状胃切除術
(発表者) 道躰隆行
(会 名) 静岡内視鏡外科研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 28 年 7 月 9 日

- 3 (演題名) 食道アカラシア患者における食道クリアランスの程度が症状と腹腔鏡下手術成績へ及ぼす影響
(発表者) 坪井一人
(会 名) 第 49 回胃病態機能研究会
(開催地、年月日) 名古屋市、平成 29 年 2 月 18 日 - 19 日

- 4 (演題名) -
(討論者) 阿部恭平、市原恒平
(会 名) 静岡県外科医会第 236 回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 29 年 3 月 4 日

- 5 (演題名) 胃の消化管間質腫瘍 (GIST) に対し胃内手術を施行した一例
(発表者) 小林康伸
(会 名) 静岡県外科医会第 236 回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 29 年 3 月 4 日

- 6 (演題名) 移動盲腸に伴う盲腸軸捻転の 1 例
(発表者) 遠藤憲彦
(会 名) 静岡県外科医会第 236 回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 29 年 3 月 4 日

[整形外科]

- 1 (演題名) 上腕骨滑車の変化を伴う Hegemann 病と診断した 1 例の治療経験
(発表者) 嶺崇文
(会 名) 静岡整形外科医会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 29 年 3 月 18 日

〔形成外科〕

- 1 (演題名) 足の Symbrachydactyly の 1 例
(発表者) 赤石 渉
(会 名) 静岡県形成外科医会 第 45 回例会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 29 年 3 月 3 日

〔皮膚科〕

- 1 (演題名) Speckled lentiginous nevus に生じた悪性黒色腫の 1 例
(発表者) 栗原和生
(会 名) 第 115 回日本皮膚科学会静岡地方会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 28 年 5 月 21 日
- 2 (演題名) 膿疱性乾癬に伴い発症した稽留性肢端皮膚炎に抗 IL-17A 抗体を投与した 1 例
(発表者) 栗原和生
(会 名) 第 80 回日本皮膚科学会東部支部学術大会
(開催地、年月日) 浜松市、平成 28 年 10 月 30 日

〔泌尿器科〕

- 1 (演題名) 尿管サルコイドーシスの一例
(発表者) 森啓一郎、鈴木英訓、後藤博一、小野寺昭一
(会 名) 第 130 回静岡県泌尿器科医会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 28 年 6 月 25 日
- 2 (演題名) 傍腎盂嚢胞自然破裂の一例
(発表者) 倉内崇至、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会 名) 第 92 回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 28 年 7 月 9 日
- 3 (演題名) 前立腺巨大嚢胞の一例
(発表者) 倉内崇至、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会 名) 第 92 回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 28 年 7 月 9 日
- 4 (演題名) 治療に難渋した腎膿瘍の一例
(発表者) 倉内崇至、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会 名) 第 93 回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 28 年 10 月 15 日
- 5 (演題名) 小細胞癌化した去勢抵抗性前立腺癌の一例
(発表者) 倉内崇至、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会 名) 第 131 回静岡県泌尿器科医会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 29 年 1 月 21 日

- 6 (演題名) 両側副腎過形成の一例
(発表者) 倉内崇至、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会名) 第94回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成29年3月25日

[産婦人科]

- 1 (演題名) 妊娠33週脳膿瘍合併妊娠の1例
(発表者) 松木翔太郎、矢田大輔、鈴木康之
(会名) 春季静岡産科婦人科学会
(開催地、年月日) 静岡市、平成28年5月29日
- 2 (演題名) 当院におけるカンシ分娩の適応と合併症および吸引分娩との比較
(発表者) 鈴木崇公、矢田大輔、長谷川瑛、鈴木康之
(会名) 静岡県母性衛生学会
(開催地、年月日) 静岡市、平成28年9月4日
- 3 (演題名) 当院における子宮内膜症性のう胞合併不妊症例に対する取扱い
(発表者) 鈴木崇公、長谷川瑛、鈴木康之
(会名) 秋季静岡産科婦人科学会
(開催地、年月日) 沼津市、平成28年11月27日

[耳鼻咽喉科]

- 1 (演題名) 頸部縦隔腫瘍の1例
(発表者) 黒田健斗、倉島彩子、重田泰史
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成28年5月25日
- 2 (演題名) 頸部症状から始まった結節性多発動脈炎の一例
(発表者) 黒田健斗、倉島彩子、重田泰史
(会名) 第108回日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会
(開催地、年月日) 三島市、平成28年7月9日
- 3 (演題名) 頸部腫瘍の一例
(発表者) 黒田健斗、倉島彩子、重田泰史
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成28年7月27日
- 4 (演題名) 前胸部壊死性筋膜炎の一例
(発表者) 黒田健斗、倉島彩子、重田泰史
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成28年9月28日

5 (演題名) 側頸部に発生した異所性甲状腺乳頭癌の1例
(発表者) 黒田健斗、重田泰史、内尾紀彦
(会名) 第109回日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会
(開催地、年月日) 浜松市、平成28年11月19日

6 (演題名) 耳下部嚢胞性腫瘍の一例
(発表者) 内尾紀彦、黒田健斗、重田泰史
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成28年11月30日

[麻酔科]

1 (演題名) 巨大子宮筋腫合併妊娠に対する帝王切開術の麻酔経験
(発表者) 影山佳世、井上恒佳、飯田瑠梨
(学会名) 日本麻酔科学会東海・北陸支部第14回学術集会
(開催地、年月日) 津市、平成28年9月10日

[歯科口腔外科]

- 1 (演題名) 口腔がん検診について、一富士市で行った口腔がん検診過去3年間の概要—
(発表者) 勝山直彦
(会名) 富士歯科医師会
(開催地、年月日) 富士市、平成29年1月25日
- 2 (演題名) 有病者の歯科治療
(発表者) 勝山直彦
(会名) 富士宮歯科医師会
(開催地、年月日) 富士宮市、平成29年2月18日

[臨床検査科]

- 1 (演題名) 消化器、唾液腺領域の細胞診断
(発表者) 内野有子
(会名) 静岡県臨床検査技師会病理細胞研究会
(開催地、年月日) 静岡市、平成28年8月6日
- 2 (演題名) 腹壁破裂の一例
(発表者) 阿部愛
(会名) 静岡県放射線技師会超音波研修会
(開催地、年月日) 静岡市、平成28年10月15日
- 3 (演題名) 私の職業
(発表者) 長峰誠一郎
(会名) 職業講話
(開催地、年月日) 富士市、平成28年10月21日

- 4 (演題名) 耳下腺基底細胞腺腫の一例
(発表者) 内野有子
(会名) 静岡県臨床細胞学会秋期学術集会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 28 年 10 月 29 日

- 5 (演題名) 右前頭葉への胃癌転移の一例
(発表者) 外山卓矢
(会名) 静岡県東部細胞診症例検討会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 28 年 11 月 11 日

- 6 (演題名) 乳腺、消化器領域の細胞診断
(発表者) 渡辺広明
(会名) 静岡県細胞検査士ワークショップ
(開催地、年月日) 静岡市、平成 28 年 11 月 13 日

- 7 (演題名) 当院で経験した白血病症例報告
(発表者) 手老真弓
(会名) 愛鷹血液形態ゼミナール
(開催地、年月日) 沼津市、平成 29 年 1 月 28 日

- 8 (演題名) 私の職業
(発表者) 石川隆之
(会名) 職業講話
(開催地、年月日) 富士市、平成 29 年 2 月 7 日

[中央放射線科]

- 1 (演題名) 下腿部 DVT 検出に対する DualEnergy 追加撮影の有用性
(発表者) 猪股崇亨
(学会名) CT Image Contest2016 JapaneseEdition
(開催地、年月日) 東京都品川区、平成 28 年 8 月 27 日

- 2 (演題名) 当院におけるエビデンスシステムの構築
(発表者) 井出宣孝
(学会名) 診療放射線技師マネージャーセミナー2016
(開催地、年月日) 名古屋市、平成 28 年 9 月 3 日

- 3 (演題名) 当院の FLAT Panel Detector におけるノイズ低減処理の特性について
(発表者) 岡田和教
(学会名) 第 25 回診療放射線技師富士・富士宮研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 28 年 10 月 28 日

- 4 (演題名) 撮影技術Ⅲ血管
(発表者) 澤口信孝
(学会名) 診療放射線技師基礎技術講演「超音波検査」
(開催地、年月日) 袋井市、平成 28 年 12 月 11 日
- 5 (演題名) 呼吸療法認定士講習会から得られた胸部単純撮影写真の試み
(発表者) 池谷幸一
(学会名) 第 26 回診療放射線技師富士・富士宮研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 29 年 3 月 31 日

〔臨床工学科〕

- 1 (演題名) CDI における当院での活用性
(発表者) 勝間田賢
(会 名) 第 5 回 パーフュージョンアカデミー
(開催地、年月日) 静岡市、平成 28 年 9 月 3 日

〔薬剤科〕

- 1 (演題名) 抗がん剤による曝露対策
(発表者) 阿部一仁
(会 名) 富士がん勉強会
(開催地、年月日) 富士市、平成 28 年 12 月 8 日
- 2 (演題名) 私の仕事
(発表者) 大滝哲也
(会 名)
(開催地、年月日) 富士市 (富士東高校)、平成 28 年 10 月 21 日
- 3 (演題名) 職業講話
(発表者) 渡辺浩臣
(会 名)
(開催地、年月日) 富士市 (富士見台小学校)、平成 29 年 2 月 9 日

〔リハビリテーション科〕

- 1 (演題名) 当院における NST チームに PT が参加したことによって得られた効果の一考察
(発表者) 梅原健人
(会 名) 第 57 回静岡リハビリテーション懇話会
(開催地、年月日) 三島市、平成 29 年 2 月 25 日

〔看護部〕

- 1 (演題名) 手術患者のラテックスアレルギー対策 ～病棟看護師へ説明会を実施して～
(発表者) 山田円
(会 名) 第5回 静岡県看護学会
(開催地、年月日) 静岡市、平成29年1月21日

- 2 (演題名) 手術患者に対するラテックスアレルギー予防対策について
(発表者) 佐藤里保
(会 名) 第16回 静岡県看護協会 富士地区支部看護実践報告会
(開催地、年月日) 富士宮市、平成29年2月4日

- 3 (演題名) 循環器病棟における退院支援シートを利用した取り組みについて
(発表者) 網野綾
(会 名) 第16回 静岡県看護協会 富士地区支部看護実践報告会
(開催地、年月日) 富士宮市、平成29年2月4日

- 4 (演題名) 急変時の看護・大量出血
(発表者) 望月久子
(会 名) 第25回 静岡県手術室研究会
(開催地、年月日) 三島市、平成29年2月4日

〔事務部〕

- 1 (演題名) 医療ソーシャルワーカーの役割について
(講演者) 遠藤卓馬
(会 名) 成年後見支援センター 市民後見人要請研修
(開催地、年月日) 富士市、平成28年6月

- 2 (演題名) 病名が見つからない
(発表者) 遠藤卓馬 (医事課地域連携室)
(会 名) MSW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成28年10月

- 3 (演題名) 子どもの安全と親の考え
(発表者) 江村宏子 (医事課地域連携室)
(会 名) MSW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成29年1月

- 4 (演題名) 医療ソーシャルワーカー実践力可視化の試み
(発表者) 江村宏子 (医事課地域連携室)
(会 名) 静岡県ソーシャルワーク実践研究学会
(開催地、年月日) 静岡市、平成29年2月

D. 著書・雑誌掲載論文

〔神経内科〕

- 1 (著書【題名】) Facilitation of distinct inhibitory synaptic inputs by chemical anoxia in neurons in the oculomotor, facial and hypoglossal motor nuclei of the rat.
(著者) Takagi S, Kono Y, Nagase M, Mochio S, Kato F.
(発行所・年・巻・号・頁) Exp Neurol・2017・290・P95-105

〔腎臓内科〕

- 1 (著書【題名】) CKD LIAISON ドクターインタビュー 行政が医療連携に力を発揮
(著者) 笠井健司
(発行所・年・巻・号・頁) メディカルレビュー・2016・P2-13
- 2 (総説【題名】) 腹膜透析の未来をひらく
(著者) 笠井健司
(発行所・年・巻・号・頁) 奈良県医師会透析部会誌・2017・22(1)・P11-14
- 3 (Web【題名】) 日経メディカル座談会 ADPKD 治療の最前線
(出演者) 森典子 (静岡県立総合病院)、安田日出夫 (浜松医科大学)、笠井健司、
田中聡 (静岡県立総合病院)、の村信介 (鈴鹿回生病院)
(メディア名・年) 日経メディカル オンライン版・2016

〔小児科〕

- 1 (著書【題名】) 日本臨床微生物学会雑誌鍵【富士市における 2015-2016 年流行 *Mycoplasma pneumoniae* のマクロライド耐性状況】
(著者) 日馬由貴、小柴学、佐野克典
(発行所・年・巻・号・頁) 日本臨床微生物学雑誌・2016・26・3・P244-247
- 2 (著書【題名】) 小児科臨床【2015 年流行マイコプラズマの臨床的特徴と抗菌薬効果】
(著者) 日馬由貴、伊藤研、角皆季樹、武政洋一、木下美沙子、玉利明信、山田浩介、
秋山直枝、千葉博胤
(発行所・年・巻・号・頁) 日本小児医事出版社／小児科臨床・2016・69・8・P1421-1425
- 3 (著書【題名】) 小児感染免疫【*Stenotrophomonas maltophilia* による菌血症合併尿路感染症を発症した生後 8 ヶ月男児例】
(著者) 日馬由貴、小野寺昭一
(発行所・年・巻・号・頁) 日本感染症学会／感染症学雑誌・2016・90・5・P666-669
- 4 (著書【題名】) 小児科診療【Guillain-Barré 症候群との鑑別に苦慮した身体表現性障害の 1 例】
(著者) 千葉浩介、山内裕子、前田恵里、梅田千里、柳澤妙、木下美沙子、赤司賢一、
勝沼俊雄、井田博幸
(発行所・年・巻・号・頁) 診断と治療社／小児科診療・2016・79・8・P1120-1123

- 5 (著書【題名】) Journal of General and and Family Medicine 【Skene' s duct cys】
 (著者) Yoshiki Kusama, Ken Ito, Takahiro Suzuki. T
 (発行所・年・巻・号・頁) Journal of General and and Family Medicine in press
- 6 (著書【題名】) Journal of General and and Family Medicine 【A pediatric case of imported dengue hemorrhagic fever in Japan.】
 (著者) Yoshiki Kusama, Ken Ito, Shigeru Tajima, Satoshi Kutsuna.
 (発行所・年・巻・号・頁) in press

[外科]

- 1 (著書【題名】) PINPOINT システムを使用して行った腹腔鏡下胆嚢摘出術の1例
 (著者) 坪井一人
 (発行所・年・巻・号・頁) 臨床外科学会雑誌・2016・77・6・P1525-1528
- 2 (著書【題名】) S状結腸魚骨穿通による卵管膿瘍・腹膜炎の1例
 (著者) 熊谷祐
 (発行所・年・巻・号・頁) 臨床外科学会雑誌・2016・77・6・P1566-1569
- 3 (著書【題名】) 日本住血吸虫症を伴った胃癌切除の2例
 (著者) 熊谷祐
 (発行所・年・巻・号・頁) 臨床外科学会雑誌・2017・72・1・P86-90
- 4 (著書【題名】) 消化器疾患 最新の治療 2017-2018
 Ⅲ章 消化管 A.食道 1. アカラシア b. 外科的治療
 (著者) 坪井一人
 (発行所・年・巻・号・頁) 南江堂・2017・2・25・P106-108
- 5 (著書【題名】) 下行大動脈による食道通過障害 (dysphagia aortica) に対し腹腔鏡下修復術が有効であった1例
 (著者) 入村雄也
 (発行所・年・巻・号・頁) 日本消化器外科学会雑誌・2016・49・7・P698-705
- 6 (著書【題名】) Pseudo-renal failure を呈し術後に判明した膀胱自然破裂の1例
 (著者) 恒松雅
 (発行所・年・巻・号・頁) 臨床外科学会雑誌・2016・77・7・P1813-1817

[皮膚科]

- 1 (著書【題名】) Idiopathic segmental anhidrosis associated with varicella
 (著者) Kurihara Kazuo, Tsushima Tomohisa, Tokura Yoshiki
 (発行所・年・巻・号・頁) The Journal of Dermatology・2017・Vol44・No2・P211-212

〔泌尿器科〕

- 1 (著書【題名】) 縮小傾向を認めた膀胱 nephrogenic adenoma
(著者) 森啓一郎、木村隆弘、鈴木英訓、後藤博一、小野寺昭一、潁川晋
(発行・年・巻・号・頁) 臨床泌尿器科・2016・第70巻・第13号・P1045-1048
- 2 (著書【題名】) 前立腺 carcinosarcoma の一例
(著者) 森啓一郎、木村隆弘、鈴木英訓、後藤博一、小野寺昭一、潁川晋
(発行・年・巻・号・頁) 日本泌尿器科学会雑誌・2016・第107巻・第4号・P266-269

〔臨床工学科〕

- 1 (著書【題名】) 手術看護エキスパート「医療ガスの職員への周知の実際」
(著者) 山元義雄
(発行所・年・巻・号・頁) 日総研出版 平成28年・第10巻・第1号・P80-84

〔看護部〕

- 1 (著書【題名】) 肝硬変患者の自宅退院に向けた肝性脳症予防のための排泄支援
(著者) 白垣玲子、高井みさ子、柘植範子、滝澤佐織、戸塚美晴、望月敦子
(発行所・年・巻・号・頁) 第46回日本看護協会論文集 在宅看護
2016・P31-34
- 2 (著書【題名】) 糖尿病患者の足病変に対する外来の待ち時間を利用した15分のフットケア指導の効果
(著者) 稲垣亜弥、関口訓巳、齋藤幸子、土屋清子
(発行所・年・巻・号・頁) 第46回日本看護学会論文集 慢性期看護
- 3 (著書【題名】) 手術看護エキスパート「心に残る手術看護 エキスパートのナラティブ・経験知から学ぶ」
(著者) 望月久子
(発行所・年・巻・号・頁) 日総研出版・2016年11月12月号・P35-39

〔事務部〕

- 1 (著書【題名】) 医療ソーシャルワーク「医療機関における保証人のないケースの現状 PART 2」
(著者) 佐藤理絵、江村宏子、遠藤卓馬(医事課地域連携室)
(発行所・年・巻・号・頁) 静岡県医療ソーシャルワーカー協会・2014・No.43(2015.5月発行)・P24-26

第31回 富士シンポジウム

(富士市立中央病院と富士市医師会との合同研究発表)

開催日：平成28年6月2日(木)

会場：富士市立中央病院2階 大会議室

テーマ：「各科の話題・トピックス」

座長：道躰隆行 富士市立中央病院 医局長(外科副部長)

吉川充 富士市医師会 生涯教育委員会委員長(望月産婦人科医院院長)

演題1：『当科における骨吸収抑制剤使用者の臨床的検討「顎骨壊死予防のために」』

発表者：本間彰人(富士市立中央病院 歯科口腔外科専任医師)

指定討論者：戸田保弘(戸田整形外科 院長)

演題2：『重症下肢虚血に対する血管内治療』

発表者：野村充希(富士市立中央病院 循環器内科専任医師)

指定討論者：山本康孝(山本康孝循環器内科・内科クリニック 院長)

演題3：『Double Mallet Lesionを含む骨性マレット指について』

発表者：平川正彦(富士市立中央病院 診療参事兼形成外科部長)

指定討論者：田中俊也(三日市整形外科 院長)

演題4：『特発性蕁麻疹の治療について』

発表者：米本広明(米本皮フ科医院 院長)

指定討論者：津嶋友央(富士市立中央病院 皮膚科部長)

演題5：『最近のワクチンの話題 — B型肝炎ワクチン定期接種化に向けて —』

発表者：堀場映子(松野こどもクリニック 院長)

指定討論者：日馬由貴(富士市立中央病院 小児科医長)

演題6：『富士市における在宅医療の現状と課題』

発表者：山田秀生(山田医院 院長)

指定討論者：藤井常宏(富士市立中央病院 診療参事兼糖尿病・
内分泌・血液内科部長)

第 33 回 富士市立中央病院学術集会

(病院職員による院内の学術発表)

開催日：平成 28 年 8 月 26 日 (金)

会場：富士市立中央病院 2 階 大会議室

構成：2 部構成 (第 1 部：一般演題、第 2 部：シンポジウム)

第 1 部：一般演題

【診療部】座長：道躰隆行 (医局長)

1 『胸腹部大動脈瘤における周術期管理 ―脊椎保護を中心に―』
発表者：心臓血管外科 高木智充、(織井恒安)

2 『水痘により生じた発汗障害』
発表者：皮膚科 栗原和生、(津嶋友央)

3 『屈折異常』
発表者：眼科 渡辺勝

【診療技術部】座長：井出宣孝 (診療技術部長)

4 『当院における妊婦健診エコーの現状と将来性』
発表者：臨床検査科 山本純子、(岩崎佐知子、阿部愛、鈴木雅人、
鈴木康之、酒井理香、大森知枝、太田原絢子、
秋田真弓、湯山桃子)

5 『新しい CT に搭載された金属アーチファクト低減ソフトの有用性』
発表者：中央放射線科 猪股崇亨

6 『当院における早期リハビリテーションの実際』
発表者：リハビリテーション科 山田将史

【看護部】座長：大石悦子（副看護部長）

7 『救急外来における看護水準の向上を目指して』

発表者：外来Cチーム 井口真澄、（古藤美津子、滝澤佐織）

8 『MRSA 感染対策 ～NICU におけるスタンダードプリコーション～』

発表者：4 B病棟 阿部めぐみ、（渡邊美穂）

9 『看護職変則交代制勤務 ～導入から実施までの経過報告～』

発表者：変則勤務検討プロジェクトチーム 大塚君子、（水野博代、植松和子、伊藤すみ子、北島美鈴、高橋克典、遠藤さよ子）

受賞結果：最優秀賞

『水痘により生じた発汗障害』

発表者：皮膚科 栗原和生、（津嶋友央）



（発表者）栗原和生 医長

優秀賞（2演題）

・『当院における妊婦健診エコーの現状と将来性』

発表者：臨床検査科 山本純子、（岩崎佐知子、阿部愛、鈴木雅人、鈴木康之、酒井理香、大森知枝、太田原絢子、秋田真弓、湯山桃子）

・『看護職変則交代制勤務 ～導入から実施までの経過報告～』

発表者：変則勤務検討プロジェクトチーム 大塚君子、（水野博代、植松和子、伊藤すみ子、北島美鈴、高橋克典、遠藤さよ子）

第2部：シンポジウム

テーマ：中央病院に求められる連携とは？

座長：鈴木康之（副院長兼産婦人科部長）

笠井健司（副院長兼腎臓内科部長）

講評：小野寺昭一（院長）

発表：

【安全管理】

1 『多職種で行う医療安全』

発表者：医療安全対策室長 田中稔

2 『当院における医療機器管理連携』

発表者：医療機器安全管理責任者 西田英明

特別発言：副院長兼脳神経外科部長 諸岡暁

【周産期医療】

3 『周産期医療における各科との連携

～妊婦が心停止！ チームで救命～』

発表者：産婦人科医長 長谷川瑛

特別発言：副院長兼産婦人科部長 鈴木康之

【チーム医療】

4 『地域包括ケアシステムにおける富士市立中央病院の役割

－ チームで行う退院支援 －』

発表者：在宅療養支援グループ 赤堀 崇代、（渡邊裕子）

特別発言：副院長兼看護部長 遠藤 さよ子

富士市立中央病院 市民公開講座

【前期】

開催日：平成28年5月19日（木） 19：00～20：30（18：30開場）

会場：富士市立中央病院2階 大会議室

講座名：第13回市民公開講座

『当院における生殖医療 — 次世代に命を繋ぐために —』

講師：鈴木康之（副院長兼産婦人科部長）

矢田大輔（産婦人科医長）

小野美代子（臨床検査科主任）

参加者数：112名



（講師：着座左から）小野主任、矢田医師、鈴木副院長



会場の様子

【後期1】

開催日：平成28年10月13日（木） 19：00～20：30（18：30開場）

会場：富士市文化会館ロゼシアター 小ホール

講座名：第14回市民公開講座

『良い便、悪い便』

講師：穴澤貞夫氏（高津看護専門学校校長・元東京慈恵会医科大学外科教授）

参加者数：123名



（講師）穴澤氏



会場の様子

【後期2】※富士市制50周年記念事業として開催

開催日：平成29年3月24日（金） 19：00～20：30（18：30開場）

会場：富士市文化会館ロゼシアター 小ホール

講座名：第15回市民公開講座

『脳脊髄液減少症を知っていますか』

講師：篠永正道 氏（国際医療福祉大学熱海病院 脳神経外科教授）

参加者数：115名



（講師）篠永氏



会場の様子

平成 28 年度 富士市立中央病院出前講座

10 講座 (全 46 回)、延べ参加人数 1,745 人

講座 No.21	切らずに治す放射線治療とは！ (中央放射線科) 5 月 16 日 / 1 回 / 14 人
講座 No.26	眼科検査について (医療技術科) 9 月 14 日 / 1 回 / 16 人
講座 No.29	骨折と転ばぬ為の身体づくり (リハビリテーション科) 4 月 30 日、6 月 10 日、10 月 12 日 / 3 回 / 96 人
講座 No.31	認知症の方との関わり方 (リハビリテーション科) 6 月 10 日、7 月 7 日 / 2 回 / 36 人
講座 No.38	未病と検査 (臨床検査科) 6 月 1 日、9 月 12 日、10 月 19 日 / 3 回 / 80 人
講座 No.49	家庭でできる感染予防 (院内感染対策室、看護部) 7 月 6・11・21 日、8 月 3・10・23 日 (2 回)、9 月 6・8・13・14・21 日、 10 月 5・13・19・21・27 日、11 月 2・4・15 日、12 月 6・7・8・20・21 日、 2 月 8 日 / 26 回 / 735 人
講座 No.53	褥瘡を防ぐには・ストーマの管理 7 月 15 日、10 月 21 日、11 月 28 日 / 3 回 / 127 人
講座 No.55	COPD ってなに (慢性閉塞性肺疾患) 3 月 3 日 / 1 回 / 19 人
講座 No.56	生命の誕生・いのちの大切さ (看護部) 10 月 11 日、11 月 18 日、12 月 8 日、1 月 13 日、2 月 8 日 / 5 回 / 610 人
講座 No.58	医療費相談 ～医療費について考える～ (地域連携室) 1 月 18 日 / 1 回 / 12 人

富士市立中央病院 病院だより

第 32 号
発行：平成28年4月20日

〒417-8567 富士市本島町50
電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077
E-mail：byoin@div.city.fuji-shizuoka.jp
http://www2.city.fuji-shizuoka.jp/byoin/
お城のちから 病院経営誌 内線2221・2222

Fuji City General Hospital

新年のご挨拶

平成28年度にあたりご挨拶申し上げます。日ごろよ市民の皆さまには、当院の運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

現在、医療を取り巻く環境は、社会保障制度改革により大きな転換を迎えようとしております。当院におきましても、静岡県地域医療構想（※）が策定された中で、従来の病院運営のあり方を見直し、新たな視点に立った病院改革を積極的に進めていくこととなります。

本年4月には、これまで当院が取り組んでまいりました専門的ながん医療の提供や相談支援体制が評価され、厚生労働省から「地域がん診療病院」の指定を受けました。これから当院は、富士保健医療圏（富士市、富士宮市）の中核病院として、高度急性期・急性期医療を担うという役割が更に強く求められることとなります。それを担うにふさわしい高度で質の高い医療を提供するとともに、医療環境の変化にも柔軟な対応ができる病院となるよう経営基盤の強化を図ってまいります。

今後も、市民の皆さまに安心で安全な医療の提供に努め、「患者さんに選ばれる病院」を目指してまいります。

平成28年4月 院長 小野寺 昭一



院長（前列中央）と副院長

地域医療構想とは...

地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保のために、都道府県が保健計画の一部として策定するものです。静岡県地域医療構想では、二次保健医療圏ごとに将来の医療機能の必要量が機能区分（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）と示されました。今後、富士保健医療圏にふさわしい機能分化と連携に向けて、医療関係者による話し合いが進められる予定です。

こくも

- 患者さんを支える専門職 リハビリテーション編 2
- 生活に役立つ! 出前講座 2
- 外来日程表 3
- 各科紹介～神経内科～ 4
- 診療報酬改定 5
- 院内チャット～後期申込受付 5

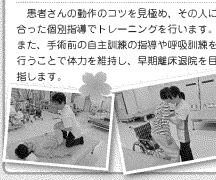
患者さんを支える専門職 リハビリテーション編

患者さんの持つ能力を最大限に引き出します!

理学療法士：PT Physical Therapist

起きる、立つ、歩くといった基本動作が素にできるよう

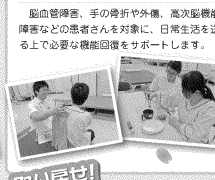
患者さんの動作のコツを見極め、その人に合った個別指導でトレーニングを行います。また、手術前の自主訓練の指導や呼吸訓練を行うことで体力を維持し、早期離床退院を目指します。



作業療法士：OT Occupational Therapist

食事をする、洋服を着る、細かい手仕事をすることを日ごと日常生活動作の改善へ

脳血管障害、手の骨折や外傷、高度脳機能障害などの患者さんを対象に、日常生活を送る上で必要な機能回復をサポートします。



言語聴覚士：ST Speech-Language-Hearing Therapist

ことばの訓練や、飲み込みの訓練に対応

脳血管障害などを原因とした言語障害の患者さんへの訓練のほか、嚥下（飲み込み）障害の訓練を行っています。患者さんが安全においしく食べられるように、医師や看護師などと連携したチームで取り組んでいます。



取り戻せ! 日常生活

明るいスタッフが患者さんを笑顔にします



生活に役立つ! 出前講座

当院職員が持つ専門的な知識や技術などを、市民の皆さまに「出前講座」として出張し紹介しています。講座には5名のメニューがあり、すべて無料です。申込みができる方は、市内在住または通勤通学者で10名以上の参加が見込まれるグループです。申し込みはホームページをご覧ください。

富士市立中央病院 総務課

リハビリテーション科の出前講座

- 飲み込みの障害のある方への対応とリハビリ
- 骨折と転倒防止のための身体づくり
- かんたん呼吸リハビリテーション
- 認知症の方との関わり方
- 床ずれ（褥瘡）予防とベッド上体操

富士市立中央病院外来日程表

受付時間：午前8時～11時		（ 備 考 ）		
診療科（仮称）	月	火	水	
内 科	初診 山本 山本 水本 水本 金本	山本 山本 水本 水本 金本	山本 山本 水本 水本 金本	
（血液内科）	山本	山本	山本	山本
（呼吸器科）	山本	山本	山本	山本
（消化器科）	山本	山本	山本	山本
（泌尿器科）	山本	山本	山本	山本
（皮膚科）	山本	山本	山本	山本
（小児科）	山本	山本	山本	山本
（産婦人科）	山本	山本	山本	山本
（眼科）	山本	山本	山本	山本
（耳鼻咽喉科）	山本	山本	山本	山本
（歯科）	山本	山本	山本	山本
（整形外科）	山本	山本	山本	山本
（放射線科）	山本	山本	山本	山本
（検査科）	山本	山本	山本	山本
（薬剤科）	山本	山本	山本	山本
（理学療法科）	山本	山本	山本	山本
（作業療法科）	山本	山本	山本	山本
（言語聴覚科）	山本	山本	山本	山本
（看護科）	山本	山本	山本	山本
（放射線技師科）	山本	山本	山本	山本
（臨床検査科）	山本	山本	山本	山本
（臨床工学技士科）	山本	山本	山本	山本
（臨床心理士科）	山本	山本	山本	山本
（社会福祉士科）	山本	山本	山本	山本
（栄養士科）	山本	山本	山本	山本
（事務科）	山本	山本	山本	山本

完全紹介状制について

一精神神経科・整形外科・形成外科・産婦人科（婦人科）のみ、放射線科を初めに受診される患者さんへまず近隣の医療機関を受診していただき、その後、専門的な検査や入院治療を要する方は、紹介状をお持ちの上で当院を受診していただくようお願いいたします。（放射線科は予約も必要です。）

当院では「病診連携」を推進しています

かかりつけ医（診療所）からの紹介状をお持ちいただくことで、効率的・効果的に治療を進めることができます。また、特定薬剤（1,620円）は償還されます。

地域における医療機能分化が図られる中、当院は急性期機能を更に充実させ、高度で専門的な医療を提供する基幹病院であるべく、診療所と役割分担を、互いに協力することで地域医療に貢献いたします。

各科紹介 ～神経内科～ 「患者さんを主訴から解放する」をモットーに

神経内科は平成15年4月から診療を開始し、外来は神経内科専門医2名が担当し、入院は内科や脳神経外科と連携し治療にあたっています。

神経内科が担当する疾患は、中枢神経系（脳・脊髄）、末梢神経系、筋肉系のあらゆる部位に存在し、非常に多岐にわたります。具体的には脳血管障害、変性疾患としてパーキンソン病、アルツハイマー病、免疫疾患として多発性硬化症、ギランバレー症候群などがあります。患者さんの病態がどの疾患から起因するのか、また患者さんの主訴（訴えのうしろめ）を正確に把握し、適切な治療に導くことが、患者さんの生活の質を向上させるために必要です。

一方で、当院は富士保健医療圏で唯一といわれる核査検査、生化学会専門医が実施する脳磁気検査、また高精度MRIなど検査機器が充実し、診断精度の向上に貢献しています。更に「21世紀は脳の時代」と言われるとおり、多くの新薬が開発され、以前は治療法すらなかった疾患も、薬物治療の恩恵を受けられる時代に来ています。

神経系の症状でお悩みの方は、ぜひ当科へご相談ください。



前列左から脳神経科、神経内科

所属紹介 ～感染対策室～ 患者さんを感染から守るために

感染対策室は病院全体の感染対策を解決する事業を企画、立案し、推進するための中核的な役割を担っています。また、病院感染発生時には感染拡大防止対策を速く実施します。そして、その原因を突き止め、問題を解決します。

感染防止の基本は手衛生です。当院は平成24年度から正しいタイミングで手衛生を行う啓発活動を始めました。正しいタイミングとは、

- 患者さんに触れる前
- 清潔操作や無菌操作の前
- 体液中に露露（汚染）された可能性がある場合
- 患者さんに触れた後
- 患者さん周囲の物品に触れた後

の5つです。（WHO手指衛生ガイドラインより）

これらのタイミングで手衛生を実践することで、患者さんや職員への感染や病院環境への汚染を強化しています。



感染対策室チームによるラウンジ（廊下）の様子



お知らせ



【診療報酬の一部が改定されました】

平成28年4月1日から診療報酬の改定により、患者さんの負担額が一部変更になりました。医療サービスの公定価格にあたる診療報酬は、2年1度厚生労働省の告示により改められ、今回は入院基本料や検査料等が改定されました。これにより、窓口にお支払いいただく金額が一部変更になりますのでご了承ください。 医師課 内線2105

【臨時職員を募集しています】

職種	看護部、看護補助	薬剤師
勤務時間	8:15～18:45（うち休憩時間1時間） 平日勤務、勤務時間等は別途おこないます	8:30～17:00（うち休憩時間1時間） 平日勤務、勤務時間等は別途おこないます
休日	毎週土曜日・日曜日及び祝祭日、年末年始	

病院総務課 内線2218

第13回市民公開講座

【当院における生殖医療～次世代に命を贈るために～】

不妊治療を中心に、生殖医療を取り巻く最近の話題や中央病院で行っている治療法について、医師、臨床検査技師がそれぞれの立場からわかりやすく解説します。

日 時 平成28年5月19日(木) 18:30開演 19:00開演
場 所 中央病院 2階大会議室
講 師 鈴木優之 (臨床検査技師) 矢田大輔 (産婦人科医長)
小野美代子 (臨床検査科主任)
参加料 100名(先着順)・無料
申込方法 4月25日(月)より電話受付を開始します。(平日8:30～17:00)
病院総務課 内線2215・2216

院内ギャラリー



後期申込受付

7月1日(金) 午前9時から
2階 応接室にて
病院総務課 内線2222

【医師の人事異動について】

退任日	平成28年2月1日	退任日	平成28年2月29日	就任日	平成28年3月1日
診療科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科
退任医師名	鈴木 貴之	山田 善之	山田 善之	山田 善之	山田 善之
就任医師名	鈴木 貴之	山田 善之	山田 善之	山田 善之	山田 善之

退任日	平成28年3月31日	退任日	平成28年4月1日
診療科	産婦人科 内分泌・ 血液内科	産婦人科	産婦人科
退任医師名	佐藤 友代 北川 倫幸子 伊藤 三郎 渡部 淳子 吉嶋 弘人 水戸 千夏 中田 善也 山田 善之	就任医師名	大村 寿広 木暮 聖哉 伊藤 勇太 佐々木 陽子 木下 義次 秋田 義博 渡部 大輔 鈴木 貴之

総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

- **看護相談・がん相談・よるす相談** 内線2046
患者さんとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
- **医療福祉相談(法律系)** 内線2113
患者さんの介護保険の活用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、病院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。
月曜日～金曜日 8:30～18:00 地域福祉室内(1階正面入り口)にて受付

その他の病院内の相談は…

- **お薬相談** お薬相談室(1階お薬出し口隣り)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
お問い合わせ：薬剤科 内線2126
- **栄養相談** 栄養相談室(2階放射線科外来隣り)
月曜日～金曜日 9:30～16:00
お問い合わせ：栄養科 内線2146
- **検査に関する相談** 医療自己啓発資料の説明 中央検査科(2階)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
お問い合わせ：臨床検査科 内線2267
- **フィットケア相談(腫瘍病室さんのためのケア)** 内科外来(2階)
月曜日～金曜日 13:00～15:30
お問い合わせ：内科外来 内線2285
- **医療放射線被ばく相談** 放射線被ばく相談室(1階)
火・木曜日 ※予約制です。
お問い合わせ：中央放射線科 内線2193
- **医療安全相談** 医療安全相談室(2階内科外来隣り)
月曜日～金曜日 8:30～16:00
お問い合わせ：医療安全科 内線2259

各種教室の紹介

- **お薬相談** お薬相談室(1階お薬出し口隣り)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
お問い合わせ：薬剤科 内線2126
- **栄養相談** 栄養相談室(2階放射線科外来隣り)
月曜日～金曜日 9:30～16:00
お問い合わせ：栄養科 内線2146
- **フィットケア相談(腫瘍病室さんのためのケア)** 内科外来(2階)
月曜日～金曜日 13:00～15:30
お問い合わせ：内科外来 内線2285
- **医療放射線被ばく相談** 放射線被ばく相談室(1階)
火・木曜日 ※予約制です。
お問い合わせ：中央放射線科 内線2193
- **医療安全相談** 医療安全相談室(2階内科外来隣り)
月曜日～金曜日 8:30～16:00
お問い合わせ：医療安全科 内線2259

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり、医療関係等へ派遣します。講座は全部で56メニュー、全て無料です。ぜひご利用ください。
● 詳細は当院ウェブサイトまで
<http://www2.city.fuji-shizuoka.jp/kyoin/>
お問い合わせ：病院総務課 内線2222

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより健康や安全に貢献し、常に医療の向上に努めます。

(富士市立中央病院職員宣言)

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず守ります。
- 3 私たちは、検査・治療・手術などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、相互信頼としての自覚のもと、他と自己を誇り、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制の構築に努めます。

(平成28年度病院指針)

「この病院に生まれてよかった」と思える医療の提供

任付で思い
続ける
技術者

日本
人の
ため
の
、
輸
送
器
を
生
み
ま
し
た
の
、
RIONETPRECIA

富士市立中央病院
総合相談センター
TEL: 0543-21-2113

2013 殿堂入り

京昌園
KEISHOUEN

0120-08-2989
www.keishouen.com

全店年中無休

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。
お問い合わせ：病院総務課 内線2221・2222

富士市立中央病院 病院だより 第33号 発行：平成28年7月20日

地域がん診療病院に指定されました。

平成28年4月1日、当院は、厚生労働省より地域がん診療病院として指定を受けました。これは、増大するがん相談、医療連携などの根本的な診療を両立することができる病院として認められたことによるものです。がん診療に対する病院の取り組みの一部をご紹介します。

がん相談支援センター

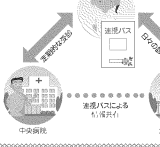
がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族の悩みに寄り添い、不安、疑問などを、様々な相談に応じます。●日時：月曜日～金曜日 午前9時30分から午後4時まで ●場所：1階地域連携室 内線2046

がん地域連携バス

5大がん（胃・大腸・肺・乳・肝）と緩和ケアの地域連携バスを運用しています。地域連携バスは、がん手術後の患者さんをおかりいただき当院主治医が連携して治療を進めるための共同診療計画のことで、普段はかかりつけ医を受診し、数か月〜1年、精密な検査をするため、当院を受診していただきます。かかりつけ医と当院主治医の二人主治医制になることで、実際の早期発見やきめ細かな対応、通院などの患者さんの負担軽減、重複した検査・治療の回避が可能となります。

県立静岡がんセンターとの連携強化

静岡県から、がん診療連携拠点病院である県立静岡がんセンターとの連携強化が実現したことで、定期的な会議や協議別居連携体制の共有開催など、連携体制の強化が進められています。また、当院では、患者さんの紹介・送迎や治療方法など、がん診療に関する事務を幅広く担当する「地域がん診療連携推進委員会」を設置し、活動を始めています。



1～2 CT装置更新 - 医師の人事異動 3 外来日程表 - ストーマ外来・スキンケア外来紹介 4 各科紹介 - 小児科 - ストーマ外来・スキンケア外来紹介 5 ボランティア紹介 - 看護学生インターシップ受け入れ開始 6 乳がん検診の予約制開始 - 看護の日記念イベント開催



がん患者サロン: がん患者さんとご家族にとって、同じ思いをしている方々との出会いの場となります。緩和ケア外来: 緩和ケア外来では、患者さんの身体的・精神的苦痛などについて予防・対処することで、患者さんの生活の質を改善し、療養生活を支援しています。

平成28年1月から全国がん登録がスタートしました。がん登録でわかることは、1)毎年どのくらいのがんになってからある一定の期間経過した人たちが、どのくらい生存しているか（生存率）、2)これらのデータを基に予測される治療効果などです。

CT装置を更新しました。平成28年5月に、64列（128スライス）マルチスライスCT装置（シーメンス社）を導入しました。全身撮影が可能なこの装置は、心臓の動きを撮影に映し出すことができ、止血困難なお子さん、高い心拍や救急患者さんの広範囲な撮影などにおいても鮮明な画像が得られます。

富士市立中央病院外来日程表 (平成28年7月1日現在) Table with columns for Department, Day, and Staff Name.

各科紹介 ~小児科~ お子さんの笑顔は宝物. Text describing pediatric services and staff commitment.

ストーマ外来・スキンケア外来紹介. Information about stoma and skin care services, including photos of the PICCO system.



おしらせ



【ボランティア紹介】

ボランティアさん募集!!
 現在、看護ボランティアさん、受付ボランティアさんを募集しています。
 当院では多くのボランティアの皆様が活躍しています。患者さんに少しでも良い環境で看護・受診をしていただけるように...という温かなお気持ちから、職員だけでは行き届かない様々なところに貢献した活動をいただいています。
 医事課 内線2105

受付

私自身の
お悩みです



受付時の患者様のお悩みや診療科へのご案内、車の不具合などの告知などしています。

整備

患者さんが安心して
利用できるよう
心がけて
います



看護師、看護師長、ストレンナーなどの清掃や整理をしています。

縫製

利用されているお
患者さんにとって
安心できる
環境を整えます



患者さんが使用する水拭きカバー、帽子などを自宅で作成し、提供しています。

整髪

会話をしながら
整えます



希望された入院患者さんに対して、髪のカットをしています。

【看護学生対象 1日インターンシップの受け入れを始めました!】

実際の看護業務や職場環境を体験することで、ご自身の将来像を具体的にイメージすることができます。看護の仕事に向いているか、就職してやっつけけるかなどの不安を解消できる機会となります。ご希望の方は、当院ウェブサイトをご覧ください。お申し込みください。
 富士市立中央病院 看護部

【乳児健診が予約制となりました】

これまで集団で行っていた乳児健診は、6月より小児科外来予約制となりました。1か月健診については、毎週水曜日午後となります。乳児健診を受ける際は、事前に小児科外来へお問い合わせください。
 乳児健診の予約・お問合せ 小児科外来 内線2298(平日午後1時から4時まで)

【看護の日 記念イベントを行いました】

「看護の日」は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合うことを目的に、近代看護教育の基礎を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ、6月12日に制定されました。今年は「看護の心をみんなの心」をテーマとして各地で催しが行われました。当院では、看護及び看護職に対する理解を深めていただくために、エントランスホールにて血圧測定と看護・療養・介護の相談、糖尿病や良生活についてのパンフレットの配布を行い、約100名の方の参加がありました。ありがとうございました。
 看護部



総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

- 看護相談・がん相談・よるす相談 内線2046
患者さんとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気の治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
- 医療福祉相談(法律相談) 内線2113
患者さんの介護保険の活用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、前院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。
月曜日～金曜日 8:30～16:00 地域連携室(1階正面入り口)→右側

その他の病院内の相談は...

- お薬相談 お薬相談室(1階お薬出し口隣り)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
お問い合わせ：薬剤科 内線2126
- 栄養相談 栄養相談室(2階循環器内科外来隣り)
月曜日～金曜日 9:00～17:00
お問い合わせ：栄養科 内線2146
- 検査に関する相談、食糧自己管理の説明 中央検査相談室(2階)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
お問い合わせ：臨床検査科 内線2267
- ワックケア相談(難病疾患患者さんのケア) 内科外来(2階)
受付、受付係 水曜日 13:00～15:00
お問い合わせ：内科外来 内線2285
- 医療放射線技師はく相談 中央放射線科(1階)
火、水曜日 ※予約制です。
お問い合わせ：中央放射線科 内線2153
- 医療安全相談 医療安全相談室(2階内科外来隣り)
月曜日～金曜日 8:30～16:00
お問い合わせ：医療安全相談室 内線2259

各種教室の紹介

- 患者さんとご家族を対象とした各種教室を開催しています。開催日・講演内容については中央病院にお問い合わせの上、お参加をご希望の方は、開催場所は、各教室いずれも中央病院2階中央会議室です。
- 病棟病室 お問い合わせ：栄養科 内線2146
日時：毎月第3水曜日 15:00～16:00
第3期開講病室勉強会スケジュール
第4期 8/16、第5期 9/20、第6期 10/18
- ファミリークラス(バースクラス・ベアクラス)
お問い合わせ：産婦人科外来 内線2059
日時：毎月2回 13:00～15:00

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり、医療機関等へ派遣します。講座は全部で56メニュー、全て無料です。ぜひご利用ください。
 ●詳細は当院ウェブサイトまで
<http://www2.city.fuji-shizuoka.jp/kyoin/>
 お問い合わせ：病院経営課 内線2222

富士市立中央病院の理念 (富士市立中央病院の理念) (富士市立中央病院職員宣言)

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
 - 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず守ります。
 - 3 私たちは、職業・倫理・学問などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
 - 4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
 - 5 私たちは、相互信頼を土台の自覚のもと、他を自己は押し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
 - 6 私たちは、医療機関相互の連携を心として、地域の医療体制の構築に努めます。
- (平成28年度病院指針)
 「この病院に来てよかった」と思える医療の提供

任せて安心!
総合相談センター
技術者支援

日本
人のための
相談室です。

RIONETPRECIA

富士市立中央病院
総合相談センター
TEL: 0545-22-2222

受付時間
9:00～18:00
受付日
月～土曜日
休診日
日・祝日

リネットセンター-富士
TEL: 0545-22-2222

受付時間
受付日
受付日

富士のものものグルメコンテスト
2013 殿堂入り

京昌園
KEISHOUEN

富士市立中央病院
TEL: 0545-22-2222

0120-08-2989
www.keishouen.com

全店年中無休
TEL: 0545-22-2222

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。
 お問い合わせ：病院経営課 内線2221・2222

おしらせ

女性医師による 女性専用の 乳腺外来を拡充しました!

乳腺疾患は、女性にとって最も心配な疾患の一つです。最近では、メディアで乳がんが取り上げられることも多くなり、検診を受けている方も多いと思います。当院では、外科外来での診察以外に毎週月曜日乳腺外来を設けていますが、増加する患者さんに対応するため、8月から乳腺外来を拡充し、女性医師が診察しています。乳腺の異常を指摘された方や自覚された方の受診をお勧めします。

今後女性性が受けやすい環境を整えてまいります。

乳がんになることがあればお返りにお返しください

東京医歯薬大学 外科学講座 乳腺外科科長 乳腺専門医 神尾 麻紀子 医師

- 日時：毎月第3木曜日午前9時から正午まで
- 受付時間：午前8時から11時まで
- 場所：乳腺の女性専用外来
- お問い合わせ：女性専用外来 内線2051

小さなお子さんのお家の皆さまへ

【子どもの医薬品誤飲事故に注意!!】

体の小さなお子さんが大人のを飲んでしまうと入院を必要とする重い中毒症状があらわれることがあります。子どもの行動の特徴を理解し、家庭における薬の保管に注意しましょう!!

子どもの行動の特徴

- 身近にあるものを手に取り何でも口に運ぶ 6ヶ月から1歳半頃
- 周囲への興味や関心が高まり大人真似をする 1歳から2歳頃
- 興味を持って好んで手に取る 2歳頃から

事故防止の対策

- 薬は、子どもの目につかない、手の届かない場所に保管する
- 子どもの前で薬を飲まない ※複数の対策を講じることが効果的です!

(薬剤科)

糖尿病予防キャンペーン

「世界糖尿病デー」にちなみ、糖尿病予防を目的とした血糖測定・血糖測定、資料配布・健康相談を無料で行います。

- 日時 平成28年11月12日(土) 12:00~14:30
- 場所 イオンタウン富士南 1階 サウスコート

病院経営課 内線2221

院内コンサートinクリスマス

入院中の患者さんや付き添いのご家族、地域の方々に楽しいひとときを過ごしていただくため、院内コンサートを開催します。

- 日時 平成28年12月6日(火) 18:30~19:30
- 場所 中央病院1階 エントランスホール

病院経営課 内線2222

総合相談センター ~こんな相談を受け付けています~

- 看護相談・がん相談・よるす相談 内線2040
患者さんとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
- 医療福祉相談(法律系) 内線2018
患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、新設先車内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。

月曜日~金曜日 8:30~16:00 地域連携室内(1階正面玄関入って右側)

その他の病院内の相談は...

- お薬相談 お薬相談室(1階お薬調剤口隣り) 月曜日~金曜日 8:30~17:00
お問い合わせ：薬剤科 内線2126
- 栄養相談 栄養相談室(2階循環器内科外来隣り) 月曜日~金曜日 ※予約制です。 お問い合わせ：栄養科 内線2146
- 検査に関する相談、自己測定器の説明 中央検査相談室(2階) 月曜日~金曜日 8:30~17:00
お問い合わせ：臨床検査科 内線2267
- フットケア相談(糖尿病患者さんの足のケア) 内科外来(2階) 第2・第4水・木曜日 13:30~15:30
お問い合わせ：内科外来 内線2235
- 医療放射線技師はく相談 中央放射線科(1階) 火・木曜日 ※予約制です。 お問い合わせ：中央放射線科 内線2153
- 医療安全相談 医療安全相談室(2階内科外来隣) 月曜日~金曜日 8:30~16:00
お問い合わせ：医療安全対策室 内線2259

各種教室の紹介

患者さんとご家族を対象とした教室を開催していますので、お気軽にご参加ください。開催日・講師内容についてはお問い合わせください。各教室の開催場所は、いずれも2階大会議室です。

- 病棟病室教室 お問い合わせ：栄養科 内線2146
日時：毎月第3水曜日 15:00~16:00
- 第4期糖尿病教室スケジュール 11/15, 12/20, 1/17, 2/21, 3/21, 4/18
- ファミリークラス(バスクラス・ベアクラス) お問い合わせ：産婦人科外来 内線2059
日時：毎月2回 13:00~15:00

(富士市立中央病院の理念)
富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をおよぼすことを目指し、常に医療の向上に努めます。

(富士市立中央病院職員宣言)
1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
3 私たちは、尊重・信頼、治療などについて、わかりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、最適な治療を提供します。
5 私たちは、相互信頼としての自覚のもと、絶えず自己研鑽し、コスト削減を怠り、効果的な治療に努めます。
6 私たちは、医療機関間の連携を促進し、地域の医療体制への貢献に努めます。

(平成28年度病院指針)
「この病院にあってよかった」と感じる医療の提供

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり、医療施設等へ派遣します。講座は全部で58メニュー、全て無料です。ぜひご利用ください。

●詳細は当院ウェブサイトまで
<http://www.city.fujishizuoka.jp/bymin/>
お問い合わせ：総務課 内線2222

新製品登場

従来の膀胱と同等サイズの 小児・経肛化に成功!
(臨床的効果 74%)

25%OFF
20%OFF

富士市立中央病院 泌尿器科

お弁当のご注文承ります! 500円以上ご注文で送料無料で配達いたします。

お弁当 1,500円
0120-08-2989 全休年中無休

京 國 京 國

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。
お問い合わせ：病院経営課 内線2221・2222



第 35 号
発行：平成29年1月20日
〒417-8567 富士市志島町50
電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077
E-mail: byoin@div.city.fuji-shizuoka.jp
http://www2.city.fuji-shizuoka.jp/byoin/
支所：50-5-4 病院敷設課 内線2221・2222
Fuji City General Hospital

富士のもっと輝くにつれて50年

写真で見ると 富士市立中央病院の歴史

富士市は、平成28年11月1日に市制50周年を迎えました。この節目にあたり、富士市と共に歩んできた富士市立中央病院の歴史を追溯いたします。

昭和24年 町立富士中央病院として診療科目5科、使用許可病床数99床で富士市本市場(現在は静岡県富士総合庁舎)に開設する。

昭和49年 町村合併による富士市誕生に伴い、市立富士中央病院と改称する。

昭和49年 診療科目9科となり、医療法による総合病院として認可を受け、総合病院市立富士中央病院となる。その後、増設を兼ね、診療科目の新設や最新鋭医療機器の導入を行い、昭和54年には診療科目11科、使用許可病床数346床の規模となる。

昭和59年 病床数不足等の解消のため、富士市立中央病院として現在の場所に移転開設し、診療科目18科、使用許可病床数920床と規模を拡大する。

平成28年 医療連携に合わせた診療科目の新設や改修を行い、診療科目24科、使用許可病床数920床と拡大している。

15周年市民公開講座
脳脊髄液減少症について

日時：平成29年3月24日(金) 18:30開演 19:00閉演
場所：ロゼンアター 小ホール
講師：脳脊髄液減少症専門医 橋本 正道 先生
定員：300名 入場無料(当日直接会場へ) 病院事務局 内線2216

- 写真で見ると富士市立中央病院の歴史
- 特定初診料変更
- 外来日程表
- 各科紹介～心臓血管外科～
- お薬手帳をお持ちください
- 院内チャラリ～展示申込み受付

平成29年4月1日より、特定初診料が変更されます。

当院では、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない初診の患者さんに、通常の健康保険の自己負担金の他に、特定初診料として別途1,620円(税込)をご負担いただいておりますが、平成29年4月1日より2,160円(税込)に変更いたします。

特定初診料とは、「初期の診察は地域の医療・診療所で、高度・専門医療は病院で」という医療の機能分化と連携を図ることを目的として厚生労働省が進めているものであり、200床以上の病院に対して患者さんの自己負担を定めたものです。

今回の料金改定は、地域医療の機能分化をより進め、医師の業務負担の軽減を図りつつ、急性期の高度医療を必要とする患者さんを看察に受け入れ、効率的、かつ、適切な医療を提供するために実施いたします。

紹介状持参のお願い

当院へ患者さんが集中することは、緊急性のある方の診療や処置などに影響が出ることが懸念されます。まず地域の医療・診療所を受診し、紹介状を持参のうえ、受診していただきますようお願いいたします。

なお、整形外科、放射線科、産婦人科(婦人科系)、精神神経科、形成外科の初診については、紹介状をお持ちの患者さんのみの診療(完全紹介制)となります。



脳脊髄液減少症とは・・・

脳脊髄液減少症(脳脊髄液減少症、脳脊髄液圧低下症)は、交通事故やスポーツ外傷などの後に、頭痛、めまい、立ちくらみなどの様々な症状が慢性的に表れる病気です。外傷で脳脊髄液の量に穴が開き髄液が漏れ出すと、髄液量の減少が原因で脳が浮腫み、起き上がるに難くなり、構構になるとなるのが特徴です。

症状から、自律神経失調症、片頭痛、精神的なものと誤解されることがあります。

当院では、画像診断による診断が可能です。ブラッドパッチ療法、解凍等の治療を要する場合は、専門の医療機関と連携しながら対応します。

③ 脳脊髄液減少症に患者さん自身の血液(自家血)を注入し、硬膜外腔に注入することで穴をふさぎ、髄液の漏れ出しを止めます。硬膜外自家血注入療法と呼ばれる治療です。



富士市立中央病院外来日程表

受付時間：午前8時～11時 平成29年1月1日現在

診療科 (担当名)	月	火	水	木	金	備 考
内 科	初診：丸井 雅一	山本 俊之	佐々木 達彦	本原 忠孝	水戸 英司	水戸 英司
【急患内科】(常設)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	大塚の急患内科は午後5時～7時のみ
【急患内科】(石塚 洋)	石塚 洋	石塚 洋	石塚 洋	石塚 洋	石塚 洋	月曜日の急患内科は午前、水曜日の急患内科は午後
【急患内科】(木村 昌久)	木村 昌久	木村 昌久	木村 昌久	木村 昌久	木村 昌久	木曜日の急患内科は午後
【急患内科】(佐々木 達彦)	佐々木 達彦	佐々木 達彦	佐々木 達彦	佐々木 達彦	佐々木 達彦	木曜日の急患内科は午後
【急患内科】(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	木曜日の急患内科は午後
【急患内科】(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	木曜日の急患内科は午後
皮膚科	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
皮膚科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
小児科	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
小児科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
乳癌科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
整形外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
整形外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
脳神経外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
脳神経外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
形成外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
形成外科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
泌尿器科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
泌尿器科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産婦人科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産婦人科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一
産科(丸井 雅一)	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一	丸井 雅一

各科紹介 ～心臓血管外科～ 高度・緊急手術の受け入れ体制を強化します!

当院は平成5年4月の開設以来、虚血性心疾患、弁膜症、大動脈疾患、末梢血管疾患等を治療しております。

以前は、急性心臓病や動脈硬化等に対する緊急手術も数多く行っており、平成22年頃から常設心臓病棟により体制は十分とは見えなくなりました。しかし、大学病院等との連携により平成27年から遠隔の予定手術が可能となり、近隣の東海大学の先生方や当院循環器内科の医師からご紹介いただいた患者さんに対して手術相談を迅速に行うことができるようになりました。

今後は、緊急手術についても多量に柔軟に対応できるよう、院内ハート(心疾患)チーム発足を始めた体制強化と教育を進めてまいります。さらに、今年4月には心臓血管外科専門医1名の常勤医師を増員いたします。科の特性上、緊急処置を必要とする患者さんが来院されます。24時間365日昼夜を問わず、ベストな医療を提供できるように努力してまいります。

医療においては構造は言うまでもなく、人としても敬される医師を目指し、患者さんと医師が信頼関係を築き、共に治療に取り組みことができる医療を実現してまいります。

当院は高度心臓病人工体置換手術、人工心臓を用いた、高度心臓病人工体置換手術、人工心臓を用いた、高度心臓病人工体置換手術



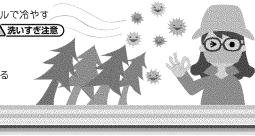
自分のできる花粉症対策

花粉症シーズンが到来しました。毎年、症状に悩まされる方も多いと思いますが、症状を軽くするためには、治療とともに花粉が体に入らないようにする注意や工夫が大切です。少しでも家に花粉症シーズンを乗り切れるよう、花粉症対策をご紹介します。

花粉症シーズン(約1%の食塩水)1500mLの作り方
①水2L(2000mL)に食塩15gを加える。
②食塩を溶解するためによく混ぜる。
③溶かした水を500mLに絞り、それを500mLの水で2回にわたって洗う。
④洗面器に①の食塩水100mLを入れ、②を500mLの水で5回洗う。
⑤④の水を500mLの水で5回洗う。
⑥⑤の水を500mLの水で5回洗う。

- 外出時は、帽子・マスク・メガネを身につける
- 上着は折りたたんだ衣類の上に着る
- 帰宅時は、外で花粉を払ってから家に入る
- 帰宅後は、洗濯物が干す
- コンタクトレンズの使用は控え、メガネを使用する
- 目を洗う
- 目がゆけては我慢できないときは、冷たいタオルで冷やす
- 鼻の中を生理食塩水(約1%の食塩水)で洗う
- 咳をする前までに必ずお風呂・シャワーに入る
- 空気清浄機を使う
- 蚊帳や布団を外に干さず、乾燥機などを活用する

※外に干した場合は、はたいて花粉を落とす





お知らせ



【お薬手帳をお持ちください】

当院では患者さんへお薬手帳の活用を推進しています。お薬手帳は1冊にまとめ、病院や診療所で診察を受ける際や薬局窓口でお薬を受け取る際は必ずお持ちください。 **薬剤科**

お薬の飲み方、処方履歴をご自分で知ることができます。



複数の医療機関で処方されているお薬が管理できることで、お薬の誤りを防げます。
旅行先、引っ越し先でもお薬を服用している薬がわかり、便利です。また日本大震災では、被災地の医療活動に役立ちました。

【病院だより・ウェブサイトへの広告募集】

平成29年度富士市立中央病院「病院だより」と「ウェブサイト」に掲載する広告を募集します。

●病院だより		●ウェブサイト	
掲載回数	最終ページ下部	掲載回数	トップページ下部
掲載料	1号につき1枠 30,000円(税別)	掲載料	1枠1か月 5,000円(税別)
募集期	1号2枠	募集期	6枠
申し込み	平成29年2月5日(月)から 2月28日(水)まで	掲載希望月の1か月前まで (6月からの掲載は2月の締め切りまで)	

応募多数の場合は、①2年契約、②複数掲載、③第30号以降の順で受付順に審査します。掲載期間は平成29年4月から平成30年3月までの間で、原則3か月以上とします。

※申し込み及び申し込みは当院ウェブサイトにてご確認ください。 **富士市立中央病院** **検査科**

病院経営課 内線2221

【院内ギャラリー展示申込みについて】

平成29年4月から9月までの展示分について、下記のとおり申し込みを受け付けます。

●展示日 平成29年2月24日(金) 午前9時から午前3時30分まで
※希望展示の場合は、午前9時30分から午前10時00分まで

●展示場 2階 厚生室

●申込書 院内ギャラリー展示申込書
※希望展示申込みは当院ウェブサイトにてご確認ください。

富士市立中央病院 **検査科**

病院経営課 内線2222

【受付ボランティアさん募集中!!】

診療科へのご案内や書類記載のお手伝いをしていただける受付ボランティアさんを募集しています。お問い合わせは医事課までお願いします。 **医事課 内線2105**

総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

- 看護相談・がん相談・よき相談** 内線2244
患者さんとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
- 医療福祉相談(福祉系)** 内線2318
患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、病院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。
月曜日～金曜日 8:30～16:00 地域連携室内(1階正面玄関入って右側)

その他の病院内の相談は…

- お薬相談** お薬相談室(1階お薬出し口隣り)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
お問い合わせ: 薬剤科 **内線2126**
- 栄養相談** 栄養相談室(2階看護病棟内科外来隣り)
月曜日～金曜日 ※予約制です。
お問い合わせ: 栄養科 **内線2146**
- 検査に関する相談・検査自己決定書の説明** 中央検査科検査室(2階)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
お問い合わせ: 臨床検査科 **内線2267**
- フットケア相談(糖尿病患者さんの足のケア)** 内科外来(2階)
第2・第4水・木曜日 13:30～15:30
お問い合わせ: 内科外来 **内線2235**
- 医療放射線技師へご相談** 中央放射線科(1階)
火・木曜日 ※予約制です。
お問い合わせ: 中央放射線科 **内線2153**
- 医療安全相談** 医療安全相談室(2階内科外来隣り)
月曜日～金曜日 8:30～16:00
お問い合わせ: 医療安全対策室 **内線2259**

各種教室の紹介

- 患者さんとご家族を対象とした教室を開催していますので、お気軽に参加ください。開催日・講義内容についてはお問い合わせください。各教室の開催場所は、いずれも2階大会議室です。
- 糖尿病教室** お問い合わせ: 栄養科 **内線2146**
日時: 毎月第3水曜日 15:00～18:00
 - 第40期腎臓病教室スケジュール**
第4回 2/21、第5回 3/21、第6回 4/18
 - ファミリークラス(バスケ・エアロクス)**
お問い合わせ: 産婦人科外来 **内線2269**
日時: 毎月3回 13:00～15:00

（富士市立中央病院の理念）

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をおもひやかしく提供し、常に医療の向上に努めます。

（富士市立中央病院職員宣言）

- 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 私たちは、知り尽くした個人のプライバシーを、必ず尊重します。
- 私たちは、情義・信義・礼儀を大切にして、力になりやすい職場に努め、患者さまの満足を実現します。
- 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要は提供いたします。
- 私たちは、市立病院としての自覚のもと、絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な医療に努めます。
- 私たちは、医療関係者間の連携を促進し、地域の医療体制への貢献に努めます。

（平成28年度病院推計）

「この病院に来てよかった」と答える医療の提供

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり、医療施設等へ派遣します。講座は全部で58メニュー、全て無料です。ぜひご利用ください。

- 詳細は当院ウェブサイトまで
<http://www.city.fujishizuoka.jp/bymin/>
お問い合わせ: 総務課 **内線2222**

新製品登場 従来の倍速と同等速さで、**小型・軽量化に成功!** (液晶の薄さ 7.9mm)

約25%OFF
約20%OFF

富士市立中央病院 富士市立中央病院

人気のおしゃべり犬で愛犬生活をサポートする「合格祈願」

京昌園 KEISHUEN

0120-08-2989
www.k-shoun.com

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。お問い合わせ: 病院経営課 内線2221・2222